

- 問1 日本で最も広い流域面積を持つ河川である利根川は、かつては東京湾に注いでいましたが、江戸時代の大規模な工事によって現在の形に整えられました。この利根川の河口が位置している、2つの県の境界として正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 千葉県と茨城県                      2. 東京都と神奈川県                      3. 東京都と千葉県                      4. 神奈川県と静岡県
- 問2 8月から9月にかけて日本付近に接近する台風の「進行方向」や経路に見られる一般的な特徴として、正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 偏西風の影響を強く受けるため、沖縄付近から真西に向かって進路を変える。                      2. 沖縄本島付近で進行方向を変え、北東方向へ進む傾向がある。                      3. 沖縄付近に到達すると、勢力を維持したまま真南に向かって逆走を始める。                      4. 季節を問わず常に同じ経路をたどり、日本本土を避けるように直線的に北上する。
- 問3 日本の気候に大きな影響を与える季節風（モンスーン）について、夏と冬の風向きと吹き出し元の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 夏はユーラシア大陸側から北西の風が吹き、冬は太平洋側から南東の風が吹く。                      2. 夏は太平洋側から北西の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から南東の風が吹く。                      3. 夏は太平洋側から南東の風が吹き、冬はユーラシア大陸側から北西の風が吹く。                      4. 夏はユーラシア大陸側から南東の風が吹き、冬は太平洋側から北西の風が吹く。
- 問4 北海道の東側の太平洋上において、千島列島に沿うように北から南へと流れる寒流を何というか、名称として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 対馬海流                      2. 黒潮                      3. 親潮                      4. リマン海流
- 問5 大陸を流れるナイル川やアマゾン川などの世界的な大河川と比較したとき、日本の河川に見られる地形的、統計的な特色を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 山地から海岸までの距離が短い、長さが短く、流れが急である                      2. 広大な平野を流れるため、長さが長く、流れが緩やかである                      3. 大陸棚が広がっているため、長さが長く、流れが急である                      4. 山地と平野の標高差が小さいため、長さが短く、流れが緩やかである
- 問6 山地と平地の境界付近において、谷の出口にあたる場所が土石流の危険箇所とされる理由について、そのメカニズムを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 尾根に囲まれて日当たりが悪い、地盤が常に湿っており、わずかな雨でも崩れやすいから。                      2. 山頂付近に比べて気圧が高いため、強風によって土砂が押し流されやすくなるから。                      3. 急な谷を流下してきた水や土砂が、平地に出て勾配が緩やかになることで一気に堆積するから。                      4. 等高線の間隔が最も広い場所であり、雨水が地下に浸透して地表の土砂を浮かび上がらせるから。
- 問7 台風による自然災害の一つである「高潮」が発生するメカニズムについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 地震の揺れによって地下の砂の粒子がバラバラになり、地下水と共に地上へ噴き出すことで地盤が軟弱になること                      2. 大雨によって地中の水分量が増加し、傾斜地の土砂が粘り気を失って一気に斜面を流れ落ちること。                      3. 海底で発生した地震によって海水が大きく揺れ動き、巨大な波となって沿岸部に繰り返し押し寄せること。                      4. 中心気圧が低くなることで海面を押し下げる空気が軽くなり海面が持ち上がることで、強風で海水が陸側に押し流されること。
- 問8 ある地域の環境活動をまとめた報告書において、市民1人1日あたりの生活用の水使用量が年々減少しているという統計データが示されました。この背景には、蛇口をこまめに閉めたり、洗面器を利用したりといった個人の工夫があります。こうした節水活動が、地域の自然環境の保全に対して直接的にもたらす効果として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. ダムの貯水量を常に満水に保つことで、周辺地域の湿度を上げ、森林火災を完全に防止する                      2. 河川の流量を極端に減少させることで、水生生物の移動範囲を限定し、外来種の侵入を阻止する                      3. 生活排水の総量を増やすことで、下水道処理施設の稼働率を上げ、行政の収入を増加させる                      4. 地下水の汲み上げ量を抑制し、天然資源の枯渇を防いで安定した資源利用を可能にする
- 問9 山地と平野の境界に形成される扇状地では、粒の大きな砂や礫（小石）が堆積しているため、河川の水が地下に染み込みやすいという性質があります。このため、扇状地の中央部（扇央）で見られる特徴的な土地利用として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 豊富な地表水を利用した広大な水田                      2. 地盤の固さを生かした大規模な工業団地                      3. 低湿な土地を利用した運根などの栽培                      4. 水はけの良さを生かした果樹園や畑
- 問10 扇状地は砂や小石が厚く積み重なってできているため、水が地下に染み込みやすく、地表の水が得にくいという性質があります。この地形的特徴を背景として、扇状地で古くから発達してきた土地利用について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 土地が平坦であることを利用した、大規模な工業団地                      2. 水はけの良さを利用した、ブドウや桃などの果樹園                      3. 土砂崩れのリスクを避けるために整備された、広大な森林保護区                      4. 地下水が豊富であることを利用した、大規模な水田地帯
- 問11 ある地域の地形を詳しく調べると、山の谷の出口付近にあたる「扇状地」の上部（地点X）に集落があることがわかりました。この地点Xにおいて、大雨が降った際や、近くの山で噴火が起きて火山灰が降り積もった後に、特に警戒すべき自然災害は何ですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 海底での地震によって発生し、海岸線に押し寄せる津波                      2. 台風などの低気圧によって海面が異常に上昇する高潮                      3. 地震の揺れによって地面が泥水のようになる液状化                      4. 山から土砂や石が水と混ざり合っ、一気に流れ下る土石流
- 問12 ある都市の気候統計において、12月から2月にかけての冬季の降水量が他の季節に比べて突出して多く、反対に夏は比較的晴天が多いという特徴が見られる場合、この都市が属する気候区分として正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候                      2. 中央高地の気候                      3. 太平洋側の気候                      4. 北海道の気候
- 問13 宮城県女川町では、東日本大震災の教訓を後世に伝えるため、当時の小中学生が中心となって「女川いのちの石碑」を町内各所に建立しました。この石碑には「ここは、東日本大震災津波到達点より高い」という碑文が刻まれています。このような石碑を設置した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 過去の津波の被害を記録した古文書や当時の写真を保管し、歴史資料館としての役割を持たせるため                      2. 津波のエネルギーを減衰させるために、海岸線に沿って巨大な石を並べる防災構造物として機能させるため                      3. 大きな地震が発生した際、この石碑よりも高い場所へ避難することを促し、人々の命を守る行動指針とするため                      4. 震災で亡くなった方々の氏名をすべて刻み、遺族が定期的に供養を行うための記念碑として活用するため